

# あいはら佳代子 議会報告

戦後70年の節目を迎えた昨年は、安全保障関連法の審議等を通して、平和に対する国民の関心が高まり、一方で、多くのテロ事件や自然災害が発生し、安心・安全な暮らしについて考えさせられた年でした。

さて本年は、城陽市にとりまして、新名神高速道路整備や新市街地整備、JR奈良線複線化、東部丘陵地整備など都市基盤整備が着実に進む重要な年です。厳しい財政状況ですが、いずれも城陽の礎を創る事業であり、引き続き市議会としての役割を果たして参ります。

更には、少子高齢化の急速な進行、財政危機への対応など解決へのスピードが期待されている今、市民の代表である私たち市議会は、市政に対するチェック機能を高めると共に、市民の声を市政に反映させ、誰もが希望を持ち、幸せで安心・安全を実感できるまち、次世代を担う

子どもたちが誇れるまち城陽の実現に向け全力で取り組んで参ります。

皆様方の、なお一層のご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

城陽市議会議員

相原 佳代子

